



# 校長室だより

令和6年度

4月18日

NO. 4

## 自然に囲まれた秦梨で動き出す 自然に触れ合う学習



朝の秦梨の山に、カッコウの鳴き声が響きます。「カッコウ」は、俳句では夏の季語、汗ばむようになるこの頃の鳥と言えます。日本ではカッコウの鳴き声にもものさみしさを感ずるのか「閑古鳥」と呼ばれています。ヨーロッパでは「春を告げる鳥」「幸運を呼ぶ鳥」と言われるそうです。もともと「鳥時計」の鳥もカッコウであったそうです。

カッコウは「托卵」を行う鳥として有名です。ホオジロやモズなどの巣に自分の卵を入れ、他の親鳥に自分の子を育てさせると言います。さらに、先に生まれたヒナは、巣の持ち主の卵やヒナを外に放り出してしまおうです。つまりその巣の親鳥は、自分と姿かたちの違う小鳥に、せつせとエサを運ぶのです。巧妙で残酷だと人には映りますが、生き抜いていくための知恵なのでしょう。

今年も、ツバメが学校に見られるようになりました。人の目につきやすい人里に巣を作るのも、天敵のガラスなどから守るためだと言われています。自然や人間のリスクのある中で、生き抜くためのすべを身につけてきた、鳥たちの一年は、誰に言われることなくスタートします。

学校では「ふるさと学習」が始まっています。三年生と五年生は田の先生に稲やコンニャクイモの育て方を教えてもらいました。アサガオの種も蒔きました。学校の畑のジャガイモも少しずつ大きくなっています。自然の営みと同じように、秦梨小学校での営みも、スタートしています。こうした学区や学校での自然の営みが、自然に子供の心と体に、染み着いていくのを感じます。

### ◇令和6年度 秦梨小学校PTA総会のお知らせ◇

4月20日の授業参観、PTA総会へのご出席、ご参加お願いいたします。PTA総会には、お配りした総会要項をお持ちいただくよう、お願いいたします。引き渡し訓練もごさいますので、よろしくお願ひいたします。午後6時からは学区歓送迎会も行われます。